

戸田市薬剤師会 定例理事会議事録

記録日	R4.3.15
記録者	芹澤

日時	令和4年3月15日 13:00~16:00	出席者	染川、野口、武長、佐貫、鎌田、 芹澤、宮下由
場所	多世代交流館 A 会議室		

議題

1. 報告事項

- 学術講演会(2/15 実施)について
- 実務実習 OTC 実習について
- 薬薬連携研修会実施報告
- 注射針回収事業について
- 医薬品流通問題について
- 地域薬剤師会代表者・連盟支部長合同研修会
- 埼玉県内の未就学児に対する医療費の現物給付について (2/24 メール済)

2. 検討事項

- 広域病院におけるファックス分業の件
- 各委員会による令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画(案)・予算(案)作成依頼

3. その他

- 戸田市薬剤師会活動確認
- その他

- ◆ 会計担当変更の件

会議内容

1. 報告事項

- 学術講演会(2/15 実施)について、鎌田学術研修委員長より報告。先日の東和薬品共催の Web 学術講演会は24名の出席で、トラブルもなく開催することができた。今後もこの方式でできそうです。開催後のアンケートによると今後要望の高かった分野として「在宅」「認知症」「がん」「ポリファーマシー」を挙げられた。

5月には、在宅委員会とコラボでニプロ共催による講演会(勉強会)を企画している。6月には大塚製薬工場との共催で川口市の小児科医による講演会を開催する話が出ているとのこと。これについては、野口副会長より、メーカー主導だと地域性の概念がない。蕨戸田医師会に依頼して、まず戸田市の医師に講演していただくのが筋ではないか、との意見あり。出席者もこの意見に賛成多数で、調整することとなった。

- 実務実習 OTC 実習について、佐貫薬学生実務実習委員長より報告。1期始まったが、時節柄まだイオン薬局の OTC 実習は再開されていない。現状、個々の指導薬剤師の判断で行っている。なお、他施設での OTC 実習については、依頼書、報告書のやりとりをしっかりと行っていく必要があるが、実習先に指導薬剤師が付き添う必要はないとのこと。
- 薬業連携研修会実施報告については、小澤保険薬局委員長が所用で欠席のため詳細な実施報告は受けなかったが、参加役員の意見として「薬局薬剤師側は管理サマリーなどに興味を示したが、病院薬剤師側は手帳の活用について意見があるようで少しずれ違いがあった。」「薬局側の参加者に偏りがあり、もっといろんな薬局に参加してもらおうとよかった。」などが挙げられた。
- 医薬品流通問題について、出席者間で確認を行った。小林化工の回収の影響はなかったようであるが、依然医薬品の適正流通には程遠い現状となっていることを確認。アンケートを取るなどして南部保健所の通達の成果を評価しなければならないことも併せて確認した。

2. 検討事項

- 広域病院におけるファックス分業の件については、まず既決案件であることを確認したいとのこと。「川口市薬剤師会から FAX 処方箋に関する請求書が届いているが・・・」との会員からの声で当時理事会にはかり、日薬の通達、受益者負担の原則に基づき、いくつか出た意見の中から「FAX 使用料は払わない」という決議を行ったものである。しかしながら、芹澤副会長より「戸田市の薬剤師会会員薬局は FAX 使用料を払いません。」という申し入れが、先方では「戸田市の薬局には送らなくて良い。」と話が違ってきている。埼玉県内を見ても行っているのは川口市薬剤師会だけではないし、会員事業者の受益を守ること一理あるのではないかと、との見解を述べた。野口副会長より、戸田市薬剤師会としての考え(スタンス)、事業者の利益を守る立場双方を議論の俎上に上げて、その中のいくつかの選択肢から最善の選択をしなくてはならないとの見解を示し、全会一致で同意した。また、染川会長は前回話題が出た段階で県薬に FAX 分業に関しての見解を申し入れているとのこと。再び野口副会長より、6月の代議員会において質問状を出し、県薬レベルで議論の俎上に上げるという選択肢もあることを述べた。まずは県薬の見解を聞いてから再度議論することとなった。
- 染川会長より、3月中に各委員会による令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画(案)・予算(案)作成依頼された。

3. その他

- 武長副会長より、学校薬剤師委員会の年間スケジュールがある程度塊、3/17に市役所5階で会議(総会)を行うとのこと。
- 社員総会を6/14

- 学生実習1期開始。OTC実習は個々で行う。
- 総会令和4年6月14日開催することとした。出席とWebのハイブリッド開催出来ないか声上がり検討することとなった。

検討事項

- 注射針回収の広報
- 医薬品流通の改善
- 総会の開催方法
- 学校薬剤師委員会の活性化
- ホームページの活用
- 地域連携委員会の運用と当会のサポート体制
- 戸田市の薬剤師の掘り起こし
- 新たな会員区分の創設
- 戸田中央HP以外の病院との薬々連携
- 地域における麻薬の在庫と処方側との情報共有のあり方
- 会営薬局の設立
- FAX分業の対応